



保永堂版／戸塚宿 元町別道



丸清版／戸塚宿

歌川広重

二つの東海道五拾三次

保永堂版と丸清版

平成29年 2月10日(金)～3月28日(火)

※会期中無休

会場：パラミタミュージアム2階 展示室

開館時間：午前9時30分～午後5時30分(最終入館は午後5時まで)

入館料：一般1,000円(4枚セット券 3,000円) / 大学生800円 / 高校生500円 / 中学生以下無料

主催：公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム

後援：中日新聞社、伊勢新聞社、朝日新聞社、読売新聞社、NHK津放送局、三重テレビ放送

協力：公益財団法人日動美術財団、日本美術商事株式会社

関連イベント

記念講演会「広重とたどる東海道」

○日時：2月26日(日)午後2時～

○講師：前田詩織氏

(中山道広重美術館 学芸員)

歌川 広重

二つの東海道五拾三次

保永堂版と丸清版

歌川広重(1797~1858)は、天保3年(1832)の夏、京都御所へ御料馬を献上する八朔御馬進献の行事を記録する内命を幕府から受けたため、江戸から京都へ上ったといわれています。この旅中のスケッチをもとにして描いた<東海道五拾三次之内>は、はじめ保永堂と遷鶴堂から共同出版され、のちに保永堂からの単独出版となり、天保5年(1834)、53ヶ所の宿場町に日本橋と京都を加えた大判錦絵全55図が完結しました。

<東海道五拾三次之内>が好評を博したことにより、名所絵師としての確固たる地位を築いた広重は、生涯にわたって20種以上もの東海道シリーズを残します。画題が隷書体で書かれていることから「隷書版東海道」とも呼ばれる丸清版の東海道五拾三次もそのうちのひとつで、保永堂版が世に出てから15年の時を経た嘉永2年(1849)、丸屋清次郎の寿鶴堂から出版されました。

保永堂版の序文に「まのあたりそこに行たらむここにさせられて」とあるように、日本橋から京都まで実際に旅行したように感じさせる東海道五拾三次を「保永堂版」と「丸清版」二つ同時に展示し、2つの構図で展観します。また大正時代に撮影された宿場町の様子も合わせてご覧いただけます。



保永堂版 / 日本橋朝之景



丸清版 / 日本橋



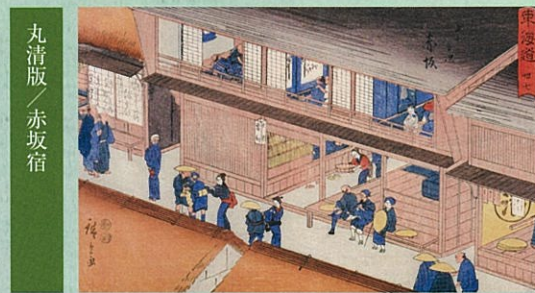
保永堂版 / 藤枝宿人馬継立



丸清版 / 藤枝宿



保永堂版 / 赤坂宿旅舎招婦 / 図



丸清版 / 赤坂宿



保永堂版 / 庄野宿白雨



丸清版 / 庄野宿

次回展示のお知らせ

会期 平成29年4月1日(土)~5月14日(日) 有元利夫 10年の絵と譜

かつて訪ねたヨーロッパで、絵画の伝統に圧倒された有元利夫(ありもととしお / 1946~1985)は、フレスコ画と日本の古画との間に、質感と肌合い、発想と描き方、コラージュ的な描法といった似通う点を見出しました。以来、有元は伝統的な日本の画材である岩絵の具や箔をもって独自の絵画世界を構築していきます。病魔に襲われ38歳の若さで世界し、画壇を席捲したのはたったの10年間。本展ではタブロー・版画・立体作品を年代ごとに展示しそこからしみ現れる確固たる10年の画業を辿ります。

■お車をご利用の場合 / 東名版「四日市I.C.」より国道477号(湯の山街道)を湯の山方面へ約6.5km。 ■無料駐車場有り(普通車100台、大型バス駐車可)
 ■電車をご利用の場合 / 近鉄「四日市駅」下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分、「大羽根園駅」下車、西へ300m。 ■全館バリアフリー、車椅子常備

